

シンポジウム「介護労働のグローバル化と介護の社会化」の開催について

1. 主 催 日本学術会議 社会学委員会少子高齢社会分科会
福祉社会学会
2. 日 時 平成20年6月8日（日）14：15～17：30
3. 場 所 上智大学四谷キャンパス3号館321教室（東京都千代田区紀尾井町7-1）
4. 次 第

開催趣旨

高齢化が進む中、介護を巡る問題は、複雑化するとともにその解決に緊急性を帯びている。本シンポジウムでは、介護労働に着目して、介護労働を提供する側と介護労働サービスを受ける側の双方から、その問題の所在と対策について議論することを目指す。労働という市場、労働を提供する場の地域、家族といった複数の視点から介護労働のあり方を考察していく。

開会の辞：山田昌弘（中央大学教授、日本学術会議連携会員）

司会：秋元美世（東洋大学教授）
後藤澄江（日本福祉大学教授）

I 講 演

- 1) 安里和晃（(財)世界人権問題研究センター嘱託研究員、笹川平和財団主任研究員）
「高齢者介護における外国人労働者の位置づけーアジア諸国の事例からー」
- 2) 森山千賀子（白梅学園短期大学準教授）
「介護現場が抱える課題の現状ー介護福祉士法の改正と介護労働の方向性ー」
- 3) 藤崎宏子（お茶の水女子大学教授、日本学術会議連携会員）
「介護保険制度と介護の『社会化』『再家族化』」

II 討 論

- 1) 牧里每治（関西学院大学教授、日本学術会議連携会員）
- 2) 白波瀬佐和子（東京大学準教授、日本学術会議連携会員）

閉会あいさつ

参加申込方法

事前申込みは必要ありません。